

いうことだと思えます。

第2に、頼みにくいですが、弁護士や司法への期待がないのかといえは、皆さん、そうではなく、非正規雇用などの労働の問題や、泣き寝入りしている消費者が多いという問題、外国人の差別の問題、あるいは刑事司法の問題、言論の自由など基本的人権の問題、企業における需要の拡大などの指摘があり、弁護士に活躍してほしいというお話がありました。

第3に、現在、急速に法曹の増員が図られていますが、これについては今の法曹の人数で十分だという意見は少ないようですが、合格者を3000人にするかについては、今日は、決まったことである、あるいは増員の必要があるという意見があり、他方には、弊害が出るので反対だという意見があり、人数まではわからないという意見もありました。この点について具体的な議論はなかなか難しいようです。

費用や専門の点などで利用しやすくなればもっと弁護士や司法は

利用されるはずだという意見があると同時に、今日のパネリストの方でも個人的に弁護士を利用したことがあるという方は少ないという現実もあります。私たちは実情を説明し、急激すぎる増員の弊害を訴え、適切な増員にする必要があると思えます。

第4に、それでは、どうするかですが、人口問題も含め、司法がきちんと機能し、もっと利用されるようにするには何が必要かという視点で、司法のありようを点検する必要があると思えます。なかでも、司法を利用する費用の問題が重要だと思えます。高額の問題でないと弁護士には頼めないという理解がされていますが、今日も、現実には、多くの弁護士が手弁当でさまざまな人権救済に取り組んでいるという実情がうかがわれました。しかし、それはいびつな形であり、紛争に巻き込まれた当事者に自己負担を求めるのではなく、また、弁護士の犠牲的精神に依拠するのではなく、諸外国のよ

扶助に金を出し、国民は費用の心配なく司法が利用できる、また、弁護士には適正な費用が払われるようになるべきだと思えます。

これは国の予算にかかわることですから、今日のように各界で活躍の皆様と弁護士会で意見を交換し、連携していくことができます。必要になつていきたいと思います。

最後に、きょうお話しいただきました7人のパネリストの皆様方に、拍手でもつてお礼を申し上げます。シンポジウムを終わりたいと思います。ありがとうございました。
(拍手)

第4 若手会員のアンケート

アンケート調査結果

		()内は回答総数に占める各期の割合		56期	57期	58期	59期	現行60期	新60期	総合
1	期	あなたの期は。	a 56期 (12.5%)	25	0	0	0	0	0	25
			b 57期 (13.5%)	0	27	0	0	0	0	27
			c 58期 (16%)	0	0	32	0	0	0	32
			d 59期 (18%)	0	0	0	36	0	0	36
			e 現行60期 (25.5%)	0	0	0	0	51	0	51
			f 新60期 (14.5%)	0	0	0	0	0	29	29
2	職歴	法曹になる前の経歴は。	a 学生	11 44.0%	13 48.1%	7 21.9%	9 25.0%	6 11.8%	22 75.9%	68
			b 社会人・公務員等の正規労働者	6 24.0%	5 18.5%	10 31.3%	5 13.9%	9 17.6%	2 6.9%	37
			c フリーター等の非正規労働者	3 12.0%	4 14.8%	5 15.6%	5 13.9%	5 9.8%	3 10.3%	25
			d 主婦	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
			e 無職(若干のアルバイト等含む)	5 20.0%	6 22.2%	9 28.1%	18 50.0%	31 60.8%	3 10.3%	72
3	志望理由	法曹を目指した理由は。(3つ以内で複数回答可)(30%以上をチェック)	a 収入が良い	10 40.0%	5 18.5%	3 9.4%	9 25.0%	9 17.6%	4 13.8%	40
			b 社会正義・弱者救済に貢献できる仕事があった	12 48.0%	10 37.0%	21 65.6%	19 52.8%	24 47.1%	14 48.3%	100
			c 紛争解決などの弁護士の仕事が自分に通じていると思った	10 40.0%	7 25.9%	9 28.1%	5 13.9%	17 33.3%	8 27.6%	56
			d 社会的なステータスが高い	5 20.0%	5 18.5%	3 9.4%	4 11.1%	10 19.6%	7 24.1%	34
			e 親の後継・希望	1 4.0%	3 11.1%	0 0.0%	4 11.1%	3 5.9%	2 6.9%	13
			f 教授や先輩に勧められた	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	3
			g 企業等の組織に就職しなかった	6 24.0%	8 29.6%	12 37.5%	10 27.8%	16 31.4%	8 27.6%	60
			h 資格を得て安定した人生を送りたいと思った	3 12.0%	5 18.5%	6 18.8%	10 27.8%	16 31.4%	6 20.7%	46
			i 法律が好きだった	4 16.0%	9 33.3%	2 6.3%	9 25.0%	9 17.6%	5 17.2%	38
			j 就職したがソリが合わなかった	0 0.0%	1 3.7%	1 3.1%	1 2.8%	2 3.9%	1 3.4%	6
			k 生活リズム等が楽そうだった	2 8.0%	1 3.7%	2 6.3%	1 2.8%	0 0.0%	1 3.4%	7
			l 政治家等を目指すステップとして	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
			m その他	2 8.0%	3 11.1%	0 0.0%	3 8.3%	4 7.8%	5 17.2%	17
4	就職活動一般	(1) 就職活動を始めた時期はいつ頃。(20%以上をチェック)	a 合格前	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 2.8%	0 0.0%	1 3.4%	3
			b 修習前	0 0.0%	2 7.4%	5 15.6%	7 19.4%	12 23.5%	12 41.4%	38
			c 前期修習中	1 4.0%	3 11.1%	1 3.1%	5 13.9%	2 3.9%	4 13.8%	16
			d 実務修習中	24 96.0%	21 77.8%	25 78.1%	23 63.9%	37 72.5%	12 41.4%	142
			e 後期修習中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
		(2) 就職に関する情報はどこから収集したか。(複数回答可)(50%以上チェック)	a OSIC	11 44.0%	11 40.7%	14 43.8%	17 47.2%	31 60.8%	16 55.2%	100
			b 各事務所のホームページ	6 24.0%	3 11.1%	11 34.4%	20 55.6%	34 66.7%	22 75.9%	96
			c 同期の友人・知人	16 64.0%	16 59.3%	21 65.6%	24 66.7%	21 41.2%	13 44.8%	111
			d 大学等の先輩	1 4.0%	4 14.8%	4 12.5%	4 11.1%	1 2.0%	2 6.9%	16
			e 現役法曹の知人	4 16.0%	9 33.3%	13 40.6%	4 11.1%	6 11.8%	8 27.6%	44
			f 修習先の弁護士事務所	7 28.0%	5 18.5%	7 21.9%	7 19.4%	7 13.7%	5 17.2%	38
			g 修習先の裁判官	1 4.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	2 3.9%	0 0.0%	4
			h 修習先の検察官	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
		(3) 大阪以外の法律事務所への就職活動しましたか。	a はい	9 36.0%	11 40.7%	18 56.3%	22 61.1%	28 54.9%	16 55.2%	104
			b いいえ	16 64.0%	15 55.6%	14 43.8%	13 36.1%	23 45.1%	13 44.8%	94
		(4) 「はい」の場合どこの事務所ですか。(複数回答可)	a 近畿地方	2 8.0%	4 14.8%	9 28.1%	12 33.3%	20 39.2%	11 37.9%	58
			b 東京	8 32.0%	6 22.2%	8 25.0%	11 30.6%	9 17.6%	3 10.3%	45
			c その他関東圏	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	2
			d 四国・中国	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.9%	3 10.3%	8
			e 北陸	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
			f その他	0 0.0%	0 0.0%	3 9.4%	0 0.0%	2 3.9%	1 3.4%	6
		(5) ひまわりや法テラスへの就職活動をしたか。	a はい	1 4.0%	1 3.7%	1 3.1%	0 0.0%	6 11.8%	4 13.8%	13
			b いいえ	23 92.0%	24 88.9%	31 96.9%	35 97.2%	43 84.3%	25 86.2%	181
		(6) ((5)が「はい」の場合) 司法過疎地への就職先をされた理由は。(2つ以内複数回答可)	a 都市圏の法律事務所では就職先が見つげにくかった	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	1 3.4%	4
b 住民の方の役に立ちたい	1 4.0%		1 3.7%	1 3.1%	0 0.0%	4 7.8%	2 6.9%	9		
c 能力や経験をより活かせる	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
d 収入等の条件がよい	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
e 家庭の事情	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	1		
(7) ((5)が「いいえ」の場合) 司法過疎地への就職先をされなかった理由は。(2つ以内複数回答可)(20%以上をチェック)	a 既に内定が出ていた	3 12.0%	9 33.3%	8 25.0%	9 25.0%	12 23.5%	5 17.2%	46		
	b 都市圏の方が能力や経験をより活かせる	7 28.0%	5 18.5%	5 15.6%	5 13.9%	7 13.7%	0 0.0%	29		
	c 最先端の分野で仕事したい	1 4.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 2.8%	2 3.9%	1 3.4%	6		
	d 収入が不安定	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	3		
	e 都市圏の方がスキルアップできる	13 52.0%	7 25.9%	15 46.9%	15 41.7%	15 29.4%	11 37.9%	76		
	f 家庭の事情	5 20.0%	9 33.3%	12 37.5%	13 36.1%	16 31.4%	9 31.0%	64		

若手弁護士に対するアンケート調査結果のまとめ

1 アンケートの目的

春秋会50周年記念シンポジウム「司法改革と法曹人口の増員」の開催に先立ち、出版・シンポジウム部会では、この5年間に弁護士に就業した56期から60期の若手弁護士を対象にして、法曹人口増員問題に関連するアンケート調査を実施しました。

若手弁護士は法曹人口問題の影響を最も受ける層であり、その意向を汲み取り、反映させる努力は、今後の司法改革を考えるにあたって極めて重要であると思われまます。今回のアンケートでは、弁護士という職業に対する感想や現状認識をはじめ、就業活動、所得の状況等を幅広く調査し、若手層の思いや現状ができるだけ浮き彫りになるように試みました。アンケート項目やその分析において不十分な点があると思えますが、なにとぞご容赦をお願い申し上げます。次第です。

期	対象者総数	回答者数(回答率)
56期	90人	25人(27.8%)
57期	120人	27人(22.5%)
58期	98人	32人(32.7%)
59期	134人	36人(26.9%)
60期	250人	80人(32.0%)

今回のアンケート対象者は、692人で、2008年8月初めに対象者全員に用紙を送付し、8月13日までに回答があった分をまとめました。回答者は200人で、回答率は28.9%でした。各期毎の対象者及び回答者数は、以下の通りです。

春秋会50周年記念事業委員会
出版・シンポジウム部会
担当 増田 広充
同 田村 ゆかり

		56期	57期	58期	59期	現行60期	新60期	総合		
9	ノキ弁等の方へ	(1) 「即独」「ノキ弁」をしようと思ったのはいつ頃か。	a 合格前	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		b 修習前	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		c 前期修習中	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
		d 実務修習中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		e 後期修習中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		f 弁護士登録後	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		(2) 即独・ノキ弁を選択した理由は何か。	a 諸般の事情で就職活動をしなかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
		b 内定した事務所には就職しなかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		c 内定がゼロだった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		d もともと即独・ノキ弁をするつもりだった	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
10	収入	(1) 初年度の給料その他の収入一切を含む年収はいくらか。(10%以上をチェック)	a 299万円以下	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
		b 300万円台	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
		c 400万円台	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	2 6.9%	4	
		d 500万円台	4 16.0%	1 3.7%	3 9.4%	5 13.9%	17 33.3%	3 10.3%	33	
		e 600万円台	13 52.0%	10 37.0%	16 50.0%	10 27.8%	20 39.2%	18 62.1%	87	
		f 700万円台	5 20.0%	7 25.9%	6 18.8%	8 22.2%	7 13.7%	3 10.3%	36	
		g 800万円台	1 4.0%	5 18.5%	5 15.6%	7 19.4%	3 5.9%	3 10.3%	24	
		h 900万円以上	0 0.0%	2 7.4%	2 6.3%	4 11.1%	1 2.0%	0 0.0%	9	
		(2) 法律事務所に勤務されている場合、事務所事件と個人事件の収入割合はいかか。	a 個人事件は受任していない	2 8.0%	2 7.4%	6 18.8%	2 5.6%	3 5.9%	7 24.1%	22
		b ほぼ事務所事件	2 8.0%	3 11.1%	9 28.1%	20 55.6%	36 70.6%	17 58.6%	87	
c 事務所事件が8割程度	5 20.0%	8 29.6%	10 31.3%	9 25.0%	11 21.6%	3 10.3%	46			
d 事務所事件が6割程度	6 24.0%	4 14.8%	1 3.1%	4 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	15			
e 半々程度	5 20.0%	5 18.5%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	14			
f 事務所事件が3割程度	0 0.0%	1 3.7%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2			
g 個人事件が大半	0 0.0%	3 11.1%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4			
(3) 個人事件を受任している場合、個人事件はどのような機会から受任するのか。(複数回答可)	a 弁護士会の法律相談・弁護士紹介からの受任	16 64.0%	22 81.5%	19 59.4%	22 61.1%	18 35.3%	9 31.0%	106		
b 法テラス法律相談からの受任	11 44.0%	12 44.4%	12 37.5%	18 50.0%	12 23.5%	5 17.2%	70			
c 刑事の国選・私選紹介	13 52.0%	21 77.8%	16 50.0%	31 86.1%	36 70.6%	16 55.2%	133			
d 知人の紹介	10 40.0%	18 66.7%	16 50.0%	17 47.2%	17 33.3%	5 17.2%	83			
e その他()	0 0.0%	1 3.7%	1 3.1%	0 0.0%	1 2.0%	1 3.4%	4			
11	OJTについて	(1) 法律事務所に勤務されている場合、事務所で行われたOJTの内容は。(複数回答可)	a 書面の添削	18 72.0%	22 81.5%	27 84.4%	31 86.1%	48 94.1%	28 96.6%	174
		b 期日への同行	16 64.0%	22 81.5%	26 81.3%	23 63.9%	45 88.2%	26 89.7%	158	
		c 証人尋問への同席	13 52.0%	22 81.5%	20 62.5%	24 66.7%	32 62.7%	19 65.5%	130	
		d 勉強会	8 32.0%	9 33.3%	9 28.1%	10 27.8%	17 33.3%	7 24.1%	60	
		e その他()	3 12.0%	0 0.0%	2 6.3%	1 2.8%	0 0.0%	1 3.4%	7	
		(2) 法律事務所でのOJTは十分だったか。	a 十分すぎた	0 0.0%	3 11.1%	1 3.1%	1 2.8%	2 3.9%	3 10.3%	10
		b 十分だった	13 52.0%	13 48.1%	24 75.0%	19 52.8%	34 66.7%	21 72.4%	124	
		c やや不十分だった	5 20.0%	7 25.9%	4 12.5%	8 22.2%	9 17.6%	3 10.3%	36	
		d きわめて不十分だった	2 8.0%	1 3.7%	2 6.3%	2 5.6%	2 3.9%	2 6.9%	11	
		(3) 法律事務所以外のOJTとして何かしたか。(複数回答可)(40%以上をチェック)	a 受けたが方法が判らない	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	4 11.1%	5 9.8%	1 3.4%	11
b 先輩・友人等へ質問する	12 48.0%	17 63.0%	15 46.9%	15 41.7%	26 51.0%	15 51.7%	100			
c 先輩・友人弁護士と一緒に仕事する	3 12.0%	13 48.1%	13 40.6%	7 19.4%	11 21.6%	7 24.1%	54			
d 同期等の勉強会	4 16.0%	13 48.1%	15 46.9%	7 19.4%	15 29.4%	4 13.8%	58			
e 弁護士会や会派の研修	15 60.0%	14 51.9%	17 53.1%	16 44.4%	31 60.8%	19 65.5%	112			
f 参考となる図書	7 28.0%	8 29.6%	12 37.5%	12 33.3%	24 47.1%	13 44.8%	76			
g 不要と思っている	0 0.0%	0 0.0%	2 6.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	3			
(4) OJTのために必要な期間はどの程度だと思われるか。(25%以上をチェック)	a 2年以上	8 32.0%	9 33.3%	8 25.0%	12 33.3%	7 13.7%	8 27.6%	52		
b 2年～1年半	2 8.0%	11 40.7%	8 25.0%	12 33.3%	24 47.1%	5 17.2%	62			
c 1年半～1年	6 24.0%	4 14.8%	4 12.5%	1 2.8%	10 19.6%	10 34.5%	35			
d 1年～半年	3 12.0%	0 0.0%	8 25.0%	3 8.3%	6 11.8%	5 17.2%	25			
e 半年以下	0 0.0%	1 3.7%	1 3.1%	3 8.3%	1 2.0%	0 0.0%	6			
f 不要	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	2			

		56期	57期	58期	59期	現行60期	新60期	総合		
5	企業への就職活動(企業内弁護士)	(1) 企業への就職活動をされたか。	a はい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		b いいえ	24 96.0%	27 100.0%	32 100.0%	34 94.4%	49 96.1%	25 86.2%	191	
		(2) 「はい」の場合) どういった企業か。(複数回答可)	a メーカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%
		b 金融	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	2	
		c サービス業	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	1	
		d その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1	
		(3) (企業への就職活動をした場合) 何社くらいか。	a 1社	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	2 6.9%	3
		b 2～3社	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	1	
		c 4～5社	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		d 6社以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(4) 企業へ就職活動された方は、民間企業への就職(企業内弁護士)を考えた理由は。(2つ以内で複数回答可)	a 事務所弁護士になるのがイヤ	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
b 法律事務所では就職先が見つげにくかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 3.4%	2			
c 最先端の分野で仕事をしたい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0			
d 能力や経験をより活かせる	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	1			
e 収入等の待遇がよい	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0			
f 収入等が安定している	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1			
g ステイタスが高い	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0			
h スキルアップのため	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	2			
6	訪問数	(2) 法律事務所、ひまわり、企業等あわせてどれくらいの数を訪問したのか。(20%以上をチェック)	a 1～5	6 24.0%	9 33.3%	8 25.0%	4 11.1%	7 13.7%	8 27.6%	42
		b 6～10	11 44.0%	11 40.7%	8 25.0%	10 27.8%	14 27.5%	7 24.1%	61	
		c 11～20	5 20.0%	4 14.8%	9 28.1%	11 30.6%	20 39.2%	8 27.6%	57	
		d 21～30	1 4.0%	0 0.0%	5 15.6%	6 16.7%	6 11.8%	4 13.8%	22	
		e 31～40	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	1 3.4%	4	
		f 41～50	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	2	
		g 51～70	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	2	
		h 71～99	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		i 100以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
		7	履歴書等	(1) 法律事務所への訪問の際、司法試験、ロースクールの成績や履歴書を持参したか。(10%以上をチェック)	a 全事務所に持参した	1 4.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 2.8%	2 3.9%
b 大半の事務所に持参した	1 4.0%			0 0.0%	1 3.1%	4 11.1%	10 19.6%	19 65.5%	35	
c 一切持参しなかった	20 80.0%			23 85.2%	24 75.0%	24 66.7%	25 49.0%	2 6.9%	118	
d 採用の現実的可能性がある事務所及び持参を求められた事務所のみ持参した	1 4.0%			3 11.1%	5 15.6%	5 13.9%	14 27.5%	3 10.3%	31	
8	事務所弁護士の方へ(スタッフ弁護士の方は除く)	(1) 法律事務所からの内定は最も早いものでいつ頃だったか。	a 合格前	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1
		b 修習前	0 0.0%	2 7.4%	0 0.0%	2 5.6%	1 2.0%	2 6.9%	7	
		c 前期修習中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	3 10.3%	5	
		d 実務修習中	21 84.0%	23 85.2%	32 100.0%	31 86.1%	42 82.4%	23 79.3%	172	
		e 後期修習中	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	3	
		f 弁護士登録後	1 4.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2	
		(2) 現在の事務所等に就職することはいつ決めたか。	a 合格前	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1
		b 修習前	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	2	
		c 前期修習中	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	3 10.3%	4	
		d 実務修習中	20 80.0%	22 81.5%	32 100.0%	32 88.9%	41 80.4%	23 79.3%	170	
e 後期修習中	1 4.0%	1 3.7%	0 0.0%	1 2.8%	2 3.9%	1 3.4%	6			
f 弁護士登録後	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	1 2.0%	0 0.0%	3			
(3) 現在の事務所等への就職を決めた理由は。(2つ以内で複数回答可)(40%以上をチェック)	a 最初に内定が出た	3 12.0%	6 22.2%	2 6.3%	15 41.7%	23 45.1%	8 27.6%	57		
b 他に内定が出なかった	1 4.0%	2 7.4%	2 6.3%	4 11.1%	9 17.6%	0 0.0%	18			
c 自分を評価してくれた	8 32.0%	2 7.4%	3 9.4%	6 16.7%	9 17.6%	3 10.3%	31			
d 自分の希望を履行できそうだった	7 28.0%	10 37.0%	20 62.5%	11 30.6%	7 13.7%	7 24.1%	62			
e 職場環境が良いと感じた	10 40.0%	11 40.7%	12 37.5%	12 33.3%	8 15.7%	12 41.4%	65			
f 給料その他の待遇が良かった	1 4.0%	2 7.4%	1 3.1%	3 8.3%	2 3.9%	2 6.9%	11			
g 親の関係	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 2.8%	2 3.9%	0 0.0%	4			
h 対象的な評価が高い	0 0.0%	1 3.7%	2 6.3%	1 2.8%	2 3.9%	1 3.4%	7			
i ボスや所属弁護士の人柄が良かった	15 60.0%	12 44.4%	19 59.4%	14 38.9%	22 43.1%	15 51.7%	97			

		56期	57期	58期	59期	現行60期	新60期	総合	
12	(1) 現在の勤め先は何箇所目か。	a 1箇所目	19 76.0%	25 92.6%	28 87.5%	31 86.1%	47 92.2%	29 100.0%	179
		b 2箇所目	3 12.0%	1 3.7%	4 12.5%	4 11.1%	2 3.9%	0 0.0%	14
		c 3箇所目	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2
		d 4箇所目以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
	(2) 「2箇所目」以上の回答された方は、退職した事務所への就職時に他の選択肢がなく、就職後に無理が生じたという事情はあるか。	a ボス等とそりが合わなかった	3 12.0%	0 0.0%	1 3.1%	2 5.6%	1 2.0%	0 0.0%	7
		b 労働条件が厳しかった	0 0.0%	0 0.0%	2 6.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	3
		c 収入等待遇が悪かった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0
		d 不祥事を起こした	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	1
		e 事実上の退職を迫られた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1
		f 純粋に転職・独立したかった	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1
		g その事務所では能力が高まらないと思った	2 8.0%	1 3.7%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4
		h その事務所では能力を発揮できないと思った	1 4.0%	0 0.0%	2 6.3%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	4
(3) 現在、独立していますか。	a はい	2 8.0%	0 0.0%	1 3.1%	2 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	5	
	b いいえ	20 80.0%	25 92.6%	30 93.8%	29 80.6%	45 88.2%	27 93.1%	176	
(4) 「はい」の場合に弁護士登録後何年目に独立したか。	a 登録時	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	b 登録半年以内	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	c 1年以内	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	1	
	d 1~2年迄	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	2	
	e 2~3年後	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
	f それ以降	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
13	(1) 弁護士になって良かったか。	a はい	17 68.0%	19 70.4%	25 78.1%	23 63.9%	30 58.8%	18 62.1%	132
		b いいえ	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.6%	3 5.9%	1 3.4%	7
		c どちらともいえない	5 20.0%	8 29.6%	7 21.9%	11 30.6%	18 35.3%	8 27.6%	57
	(2) 良かった点があれば教えて下さい。(3つ以内で複数回答可)(40%以上をチェック)	a 収入が良い	11 44.0%	10 37.0%	11 34.4%	14 38.9%	5 9.8%	10 34.5%	61
		b 仕事にやりがいがある	18 72.0%	17 63.0%	22 68.8%	20 55.6%	23 45.1%	16 52.2%	116
		c 社会正義・弱者救済の現実に貢献できる	9 36.0%	11 40.7%	12 37.5%	10 27.8%	17 33.3%	10 34.5%	69
		d 自分なりに納得できる仕事ができる	13 52.0%	13 48.1%	14 43.8%	15 41.7%	27 52.9%	15 51.7%	97
		e 社会的なステータスが高い	4 16.0%	6 22.2%	6 18.8%	3 8.3%	12 23.5%	7 24.1%	38
		f 生活リズム等が自由	6 24.0%	8 29.6%	10 31.3%	5 13.9%	12 23.5%	8 27.6%	49
	(3) 悪かった点があれば教えて下さい。(3つ以内で複数回答可)(30%以上をチェック)	a 収入が悪い	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 8.3%	7 13.7%	4 13.8%	15
		b 仕事にやりがいがない	1 4.0%	1 3.7%	0 0.0%	2 5.6%	4 7.8%	1 3.4%	9
		c 仕事の量が多くしんどい	8 32.0%	17 63.0%	12 37.5%	19 52.8%	15 29.4%	12 41.4%	83
d 人との交流が疎で孤独感がある		10 40.0%	13 48.1%	16 50.0%	17 47.2%	13 25.5%	12 41.4%	81	
e 公益活動をしたくても経済的にできない		3 12.0%	1 3.7%	1 3.1%	6 16.7%	6 11.8%	3 10.3%	20	
(4) 弁護士の仕事に誇りを持っていますか。	a 誇りを持っている	22 88.0%	22 81.5%	30 93.8%	30 83.3%	41 80.4%	25 86.2%	170	
	b 誇りが持てない	1 4.0%	2 7.4%	1 3.1%	3 8.3%	6 11.8%	3 10.3%	16	

2 アンケート分析

1 法曹になる前の経歴(設問2)

56期、57期は「学生」が多数。59期、現行60期になると「無職」が急増し、新60期はロースクール卒の「学生」が多数となる。59期、現行60期で「無職」が多数となったのは、現行試験での合格者が絞り込まれることになり、受験に専念しようとする受験生が増えたためかも知れないが、真相は不明。なお「主婦」からの転身が各期とも皆無であることが目を惹く。

2 志望理由(設問3)

「社会正義、弱者救済に貢献できる」という回答がどの期も最も多く、58期は3分の2強が、57期は3分の1強が、他の期は約半数がこの理由を挙げた。「収入が良い」との回答は56期が40%、それ以降の期は約10%だった。

3 就職活動開始時期(設問4(1))

各期とも実務修習中に開始したという回答が最多だが、現行60期及び新60期では修習前から開始したという回答も多数あり、特に新60期は4割を超す。全体的な就職難の中で、現行60期に比べ、修習開始時期が

約半年も遅い新60期に焦燥感があつたためとみられる。なお56期では実務修習中に開始したという回答が96%に上るが、57期、現行60期は60%、80%、新60期は40%となっている。

4 就職に関する情報収集先(設問4(2))

情報収集先はここ5年で、「同期の友人・知人」から「ホームページ」へと大きく移行している。ネット社会化の当然の帰結ともいえるが、ネット情報によるイメージ先行は、労使ミスマッチに通じる危険が危惧される。

5 司法過疎地を希望しなかった理由(設問4(7))

都市圏の就職先を希望した理由として、「家庭の事情」が安定的に3割前後を占める。各期によって特段大きな違いは見られない。法曹人口が増えても、直ちに過疎地赴任者の増加につながるような傾向はないともいえる。

6 就職目的の事務所訪問数(設問6)

57期以前と58期以降との間で、訪問事務所数が11以上だったという回答の割合が顕著に増えている。「51~70」という回答も59期、現行60期で各1つずつあった。

7 事務所訪問時の履歴書等の持参(設問7)

59期以前は、一切持参していないとの回答が圧倒的多数であり、人物本位での就職活動だった様子が看取できる。他方、現行60期と新60期との間でも大きく差異があり、一切持参しなかったとの回答が現行60期では約半数あつたのに対し、新60期では7%と非常に少数である。新60期では、おそらくロースクールの成績表が就職活動時の一つのアイテムになっていたという様子が伺われる。

8 現在の事務所を選択した理由(設問8)

58期以前は、「自分の希望を实行できそうだった」「職場環境が良いと感じた」という積極的理由が多く、59期以降は「最初に内定が出た」という消極的理由が目立つ。「ボスや所属弁護士の人柄が良かった」という回答はいずれの期でも約40%、60%と多い。

9 初任給(設問10)

初年度給与は各期とも600万円台が多だが、毎年低下傾向がみられ、現行60期では3人に1人が500万円台だった。新60期の方が恵まれたようである。

10 OJT関係(設問11)

事務所以外でのOJTとして、「弁護士会や会派の研修」は各期とも40〜65%と多く、大阪の充実した研修がOJTに寄与していることが伺える。他方、「同期等の勉強会」が59期、現行60期、新60期で少ないが目立つ。横のつながりが薄れているという傾向か。弁護士になって悪かったと思う事という質問(設問13)で、「人との交流が疎で孤独感を感じる」という回答が各期とも目立っていることも、この傾向を示している。

OJTに必要と思う期間については、現行60期が「2年〜1年半」がほぼ半数で最多。他方、新60期は、「1年半〜1年」が最多であり、ロースクールでのOJTに対する自信の表れか?もともと「2年以上」という回答が、現行60期では13.7%なのに対し、新60期はその約2倍の27.6%あり、新60期の中でもロースクールでの成果に自信を持つ層と、持てない層とに二極化している様子である。

11 弁護士になって…(設問13)

「弁護士になって良かったか」という質問については、各期とも「はい」が多数。ただ、期が新しくなるほど、「はい」が低下し、「どちらともいえない」が上昇する傾向がみられる。

また弁護士になって良かった点として、「仕事にやりがいがある」「自分なりに納得できる仕事ができる」が、各期とも1位と2位(現行60期だけが1位と2位とが逆)となっている。

他方、悪かった点では「仕事にやりがいがない」という回答はどの期も最少で、「仕事の量が多くしんどい」「人との交流が疎であり孤独感がある」という回答が各期とも25〜63%と多くを占めている。なお、「人との交流が疎であり孤独感がある」との回答は、56〜新60期あわせて200人中81人、40.5%に上っている。最後の設問に対して、弁護士の仕事に「誇りを持っている」は200人中170人と、「持てない」(16人)の10倍を超えた(無回答14人)ことは、明るい材料か。

第5 春秋会創立期の

会員のお話をお伺いする会